

地質ニュース

昭和 48 年 9 月 第 229 号 1973

| | | | |
|---------|--|--------------------|----|
| 解 説 | 地 向 斜 玄 武 岩 ③ ～ フィールド から ラボ へ ～ | 服 部 仁 | 1 |
| トピックス | 海 洋 地 質 関 係 部 門 の 増 設 | 水 野 篤 行 井 上 英 二 | 19 |
| | 空 中 電 磁 法 ～ 現 状 と 将 来 ③ ～ | 駒 井 二 郎 | 20 |
| | 京 都 大 阪 奈 良 神 戸 堺 大 津 の 基 盤 構 造 に つ い て の 夢 想 ⑦ | 散 官 大 夫 | 28 |
| 海 外 事 情 | 中 国 大 陸 の 古 地 理 、 地 質 構 造 と 鉱 物 資 源 | 高 島 清 | 36 |
| | 南 米 ア ン デ ス 地 帯 の 地 質 と 鉱 床 ③ | 竹 田 英 夫 | 46 |
| | 書 庫 か ら の 便 り ⑫ | 資 料 室 | 63 |

編 集 地 質 調 査 所

表 紙 の 写 真

2.5 億 年 前 の 枕 状 溶 岩

灼熱のマグマが陸上に溢れ出て溶岩流になるのは火山でよく観察されている。1,000°Cから常温へ液体から固体岩石への急激な冷却過程をこれほど巧みに要領よく説明してくれる地質現象はほかにはないだろう。マグマの性質・火山噴火の様式などによってもちろん溶岩はいろいろ異なった形態をみせてくれる。ところで水中ではどんな溶岩ができるのだろうか。

最近ドレッジされる海洋底の岩石にはアルカリに乏しい玄武岩がたくさん確認され、枕状溶岩(Pillow Lava)の産出頻度は高いという。海底火山でマグマが噴出すると高水圧下の熱水層中へあかかも水銀がころがって回転槽円体を作るかのように円柱状の溶岩に分離してゆーらしい。陸上とちがって誰もその形成過程を目撃していないのが残念だがこれが枕状溶岩のもっとも普通なでき方であろう。写真は長径40cm短径20cmのピローの断面短軸に沿った内核(向って右側)から外殻の部分である。

内核から外殻へ粒度が変化し、丁度右から左へ向けて球体が分離してゆきピローがはじき出されるような錯覚を与えかねない。詳しくは本誌9頁・第48図を見ていただきたい(写真の横の長さ=約6.5cm:大薄片の一部)。(文 服部仁 写真 正井義郎)

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社